



コミュニティ・スクール

雄踏中 CS 通信

令和7年6月10日
第1号
浜松市立雄踏中学校

本校は、令和2年度からコミュニティ・スクール（以下CSと記載）となり、本年度で6年目を迎えます。保護者や地域みなさんで構成された学校運営協議会委員の声を学校運営に生かして、「雄踏中ならではの」特色ある学校づくりを、年4回の学校運営協議会を通して熟議していきます。

○令和7年度の雄踏中学校運営協議会委員のメンバーを紹介します。

会長	藤田 源大 さん
副会長	藤田 雅光 さん
委員	山内 勝己 さん
委員	坂下 正泰 さん
委員	関谷みゆき さん
委員	坂田 尚久 さん
委員	河瀬 俊夫 さん
委員	渥美香由里 さん
委員	加茂しづか さん



○第1回学校運営協議会（4月24日）の熟議内容

① 学校経営方針の承認

雄踏中学校学校教育目標 『豊かな心を持ち 未来を創造する生徒』とグランドデザインについて、校長が説明をしました。その後、委員の皆様から質問やご意見をいただきました。最後には、学校経営方針と今年度の教育活動について、満場一致で承認されましたので、学校HPのグランドデザインをご覧ください。

② 雄踏中学校いじめ防止等のための基本方針の確認

雄踏中いじめ未然防止対策基本方針及び現状について、生徒指導主事が説明をしました。その後、委員の皆様からたくさんのご意見をいただきました。いじめについては、どの委員も関心が高く、今後の協議会でも話し合いをしていきます。

熟議の中で、次のようなご意見があったので、今後に生かしていこうと思います。

- ・社会に出て困らない自立心を持たせることが重要。先生方の負担増にはなと思うが、叱るべきところはしっかり叱ることが出来る学校になってほしい。社会に出て生きていける力を付けて頂きたい。
- ・校訓「創造一路」の意味を真剣に考えて進めていっていただきたい。何を実現すれば「雄踏ならではの」なのかをしっかりと考える必要がある。
- ・先生方が若い事は大きな魅力。しかし、いじめへの対応力は経験に裏打ちされた知見が必要。一歩引いて俯瞰できる管理職の助言、情報共有が必要だと考える。



○第2回学校運営協議会（6月5日）の熟議内容

① 「社会を生き抜くための資質・能力」と「雄踏ならではの教育」に関する熟議

育成を求められる資質・能力について、教務主任から説明しました。そして、「雄踏ならではの教育」を通して「社会を生き抜くための資質・能力」を身につけるにはどうすればよいか、様々な意見を共有しました。

これからの社会を生き抜くための力ってどんな力ですか？

社会の変化に主体的に向き合って関わり合い、自らの可能性を發揮し多様な他者と協働しながらよりよい社会と幸福な人生を切り開き、未来の作り手となることができる力

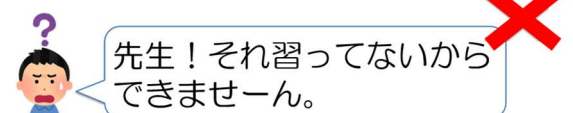


未知の状況に直面したときに、できることを使って何とかしようとする力

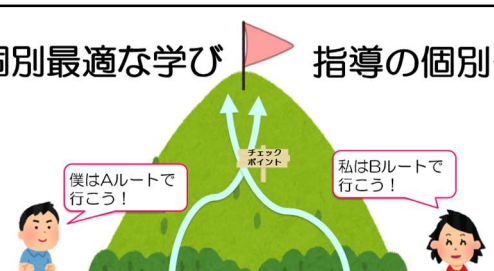
↓

学んでいないなりに、なんとかしようとする力

先生！それ習ってないからできません。



個別最適な学び 指導の個別化



個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実




SWOT分析（雄踏町、雄踏中の内外の強みと弱み）という視点をもとに話し合いました。

プラス面

- ・挨拶ができる生徒が多い。
- ・地域の行事に多く参加している。等

マイナス面

- ・1小1中のため、多様な他者と協働する機会が少ない。
- ・教員の数が少ない。等

社会の変化に主体的に向き合って関わり合い、自らの可能性を發揮し多様な他者と協働しながらよりよい社会と幸福な人生を切り開き、未来の作り手となることができる力

	プラスの面	マイナスの面
内的環境	強み (Strengths) → 雄踏中の学校内の強み	弱み (Weaknesses) → 雄踏中の学校内の弱み
外的環境	機会 (Opportunities) → 雄踏の強み	脅威 (Threats) → 雄踏の弱み



② 令和7年度の具体的な取組の説明

今年度の教育活動において、地域の皆様のお力をお借りしたい活動を説明しました。

- 1年生 「防災について学ぶ日」の炊き出しボランティア
- 2年生 「職場体験」の活動確認
- 3年生 高校入試面接ボランティア

この他にも、家庭科の裁縫ボランティアなど、教科の学習においても地域と協働して行える活動があるか検討しています。

